

Eagle Eyeクラウド VMS 映像のプライバシー

2023-03-03 Revision 1.0

対象者

本書は、イーグルアイクラウド映像管理システム（EEVMS）を使用するリセラーとエンドユーザーの管理者を対象としています。具体的には、映像のプライバシーとリセラーがエンドユーザーのサイトにアクセスできるかなど、アカウントの映像閲覧に関する意思決定を行う管理者が対象になります。映像のプライバシー設定には、イーグルアイクラウド映像管理システム（EEVMS）の基本的な知識を必要とします。

概要

映像のプライバシーは安全なクラウド映像管理システムの重要なコンポーネントです。イーグルアイネットワークスは、データを常に不正アクセスから保護するために、カメラとデータアクセスポイントの安全性を最優先にしています。

ライブ/録画映像のどちらを閲覧する場合でも、イーグルアイクラウドVMSの映像プライバシー保護は、設置技術者や未承認ユーザーが映像を閲覧するのを防ぎ、さらにはカメラへのVPNアクセスもブロックします。

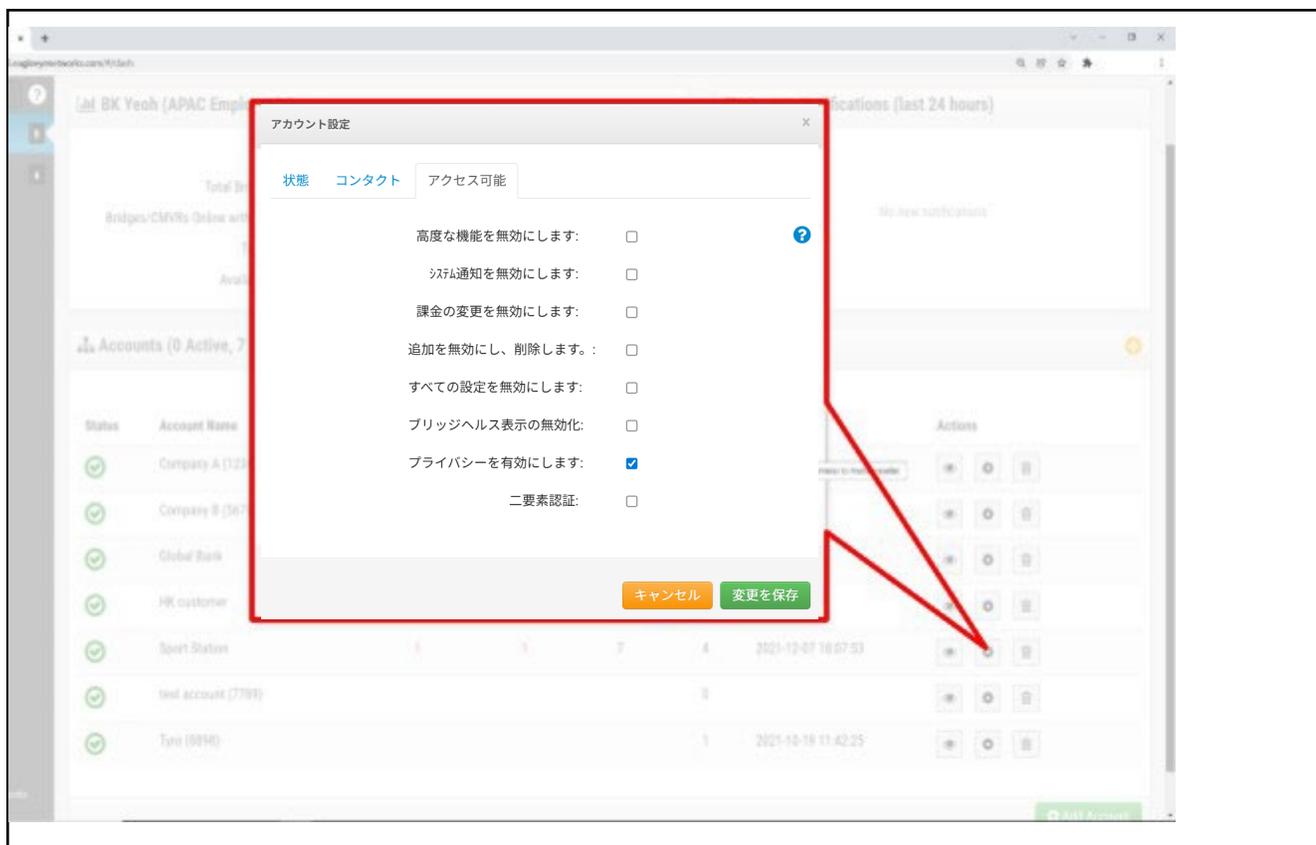
運用について

サブアカウントに登録されていないイーグルアイクラウドVMSユーザーは、サブアカウントのカメラ映像を閲覧することができません。VMSのアクセス権限があるリセラーの設置技術者は、必要に応じてカメラの構成を管理できますが、顧客の映像を閲覧することはできません。サブアカウントの管理者はこれらの設定を管理し、外部ユーザーによる映像閲覧に関する映像のプライバシーを有効化できます。

機能

以下の例では、リセラー管理者がサブアカウントの映像のプライバシーを有効化・構成するのに必要な手順を説明します。さらに、プライバシーの無効化が必要な場合に、サブアカウントの管理者が実行する手順についても説明しています。

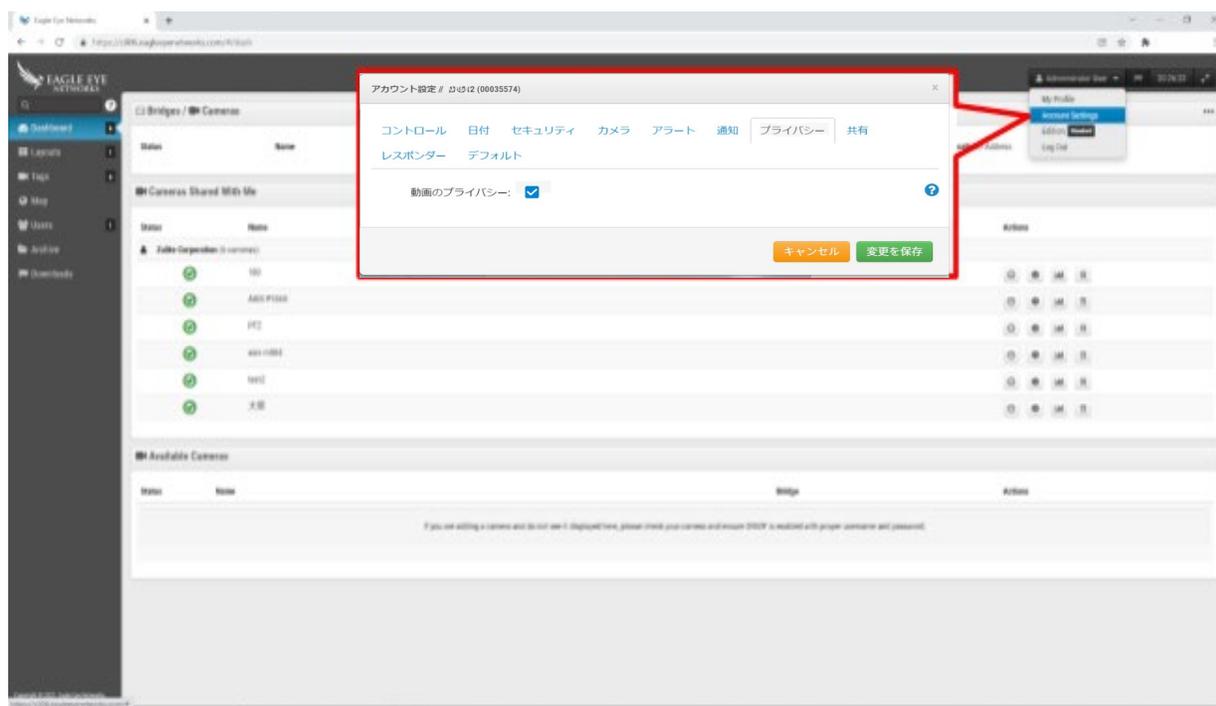
リセラーアカウントの管理者は、イーグルアイクラウドVMSのリセラーアカウントに直接アクセスし、サブアカウントの設定から「プライバシーを有効にします」を選択することで、許可されていないユーザーが映像を閲覧するのを防ぐことができます。「アカウント設定」でこのオプションが有効化されると、サブアカウントの管理者がサブアカウントレベルで有効化することができます。この時点では、プライバシーモードを無効化できるのはサブアカウント管理者だけです。



リセラー管理者としてログインしたら、次の手順を実行します。

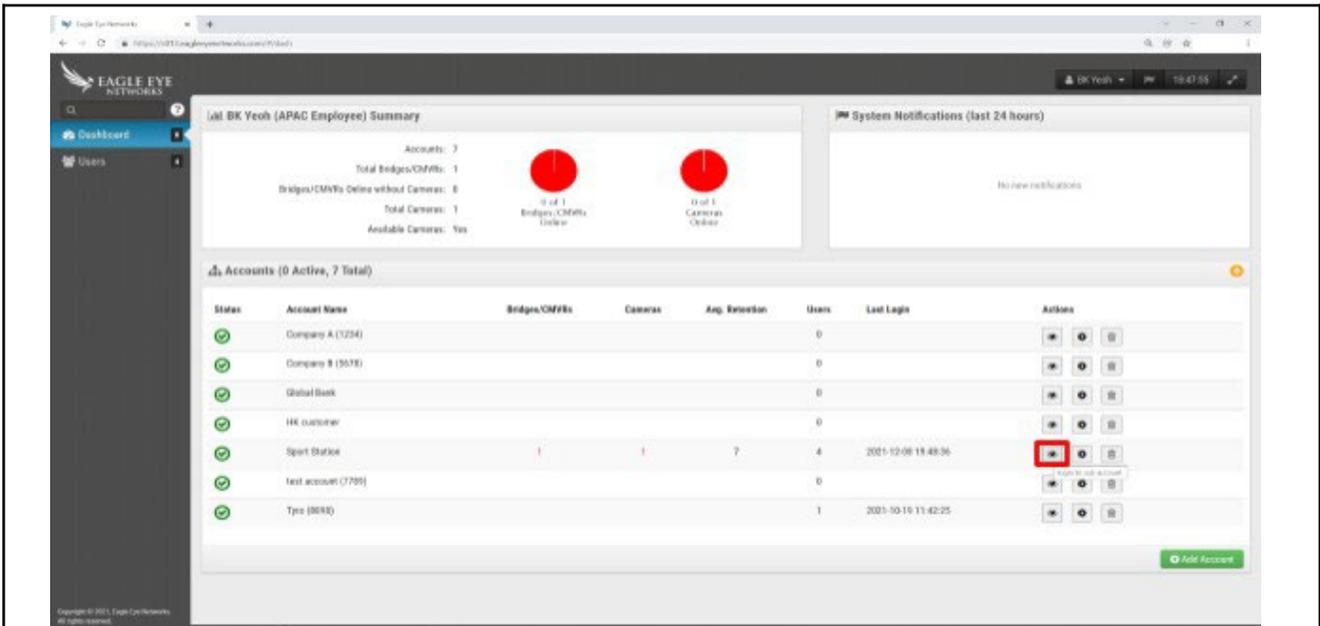
1. サブアカウントを選択
2. 「アカウント設定」をクリックして「アクセス可能」タブに移動
3. 「プライバシーを有効にします」を選択して変更を保存

上記の手順が完了したら、リセラーアカウントからログアウトしてください。



変更が保存されたサブアカウントに管理者としてログインします。

1. 「アカウント設定」から「プライバシー」タブの順に移動
2. 「動画のプライバシー」をクリックして有効化
3. 「変更を保存」をクリック
4. サブアカウントからログアウト



映像のプライバシーが問題なく有効化されたことを確認するために、リセラーアカウントにログインして「アクション」アイコンをクリックし、サブアカウントに直接アクセスします。



ログイン後、「レイアウト」に移動して「全てのカメラ」をクリックします。映像のプライバシーが有効化されているため、すべてのカメラが非公開になっており、映像を閲覧できるのはサブアカウントのユーザーだけとなっています。